



# 福島県特別支援学校

## 体育連盟だより



令和3年2月 発行

福島県特別支援学校  
体育連盟 事務局  
(福島県立あぶくま支援学校内)

福島県郡山市中田町赤沼  
字杉並139番地

## 福島県特別支援学校体育連盟の活動を振り返って

特別支援学校体育連盟会長 西村 則 昌  
あぶくま支援学校校長



県内の学校におきましては、年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響から、1ヶ月程の臨時休業があり、各校の教育活動については、実施の可否や延期、内容の変更等、これまでとは違った対応になる状況が、現在も続いているところであります。

今年度は、福島県特別支援学校体育連盟の5月の総会が書面議決となったのをはじめ、第19回福島県特別支援学校スポーツ大会については、新型コロナウイルス感染症の状況や学校再開後の生徒の生活リズムを整えること等の理由から中止の決定をいたしました。

また、全5競技によるスポーツ大会を中止としたものの、生徒たちのスポーツの機会を確保できないか改めて検討を進めた結果、代替大会として、「2020 福島県特別支援学校陸上競技大会」を開催することといたしました。代替大会については、短い準備期間でしたが、生徒たちが、安心・安全に大会へ参加できるように、役員をはじめ各校のご協力を得ながら新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を含め、当日に向けた準備を進めてきたところでしたが、台風の影響により大変残念ながら中止といたしました。

障がい者のスポーツ大会については、参加する機会が減ってしまいましたが、各学校において、体育や運動部活動等、日頃から運動に触れる機会を通して、スポーツの楽しさや素晴らしさを味わったり、健康な身体作りに取り組んだりして、生徒一人一人の成長につなげていってほしいと思います。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況については見通しがもてにくいですが、連盟といたしましては、来年で20回目を迎える福島県特別支援学校スポーツ大会の開催や大会の充実、発展に向けて一層努力してまいりたいと考えています。

## 2020 福島県特別支援学校陸上競技大会 (第19回スポーツ大会代替大会) 総評

第19回福島県特別支援学校スポーツ大会 (同代替大会) 橋本 淳一  
実行委員長 (福島県立視覚支援学校校長)



令和2年度の福島県特別支援学校スポーツ大会は、代替大会としての陸上競技大会となり、さらにはその陸上競技大会も、残念ながら台風の影響により中止となりました。

本大会については、4月の特別支援学校長会において、福島県特別支援学校体育連盟会長である、西村あぶくま支援学校校長から「規模縮小での開催」と「開催中止」の2案が提案されました。コロナ禍における学校行事については、県内各校ともに中止あるいは規模縮小を余儀なくされていた中でのことでしたが、本大会に向けて練習を重ねてきた生徒の思いを大切に、活動の場をなくしてはいけないという考えから、開催できる方法を模索しました。

当初、「規模縮小での開催」においては、陸上競技に加えてフライングディスクの個人競技を行うこととしていましたが、各校との意見調整の結果、陸上競技のみの大会とし、かつスポーツ大会の代替大会と位置付けて開催することになりました。

開催に向けては、事務局校であるあぶくま支援学校をはじめ、幹事校である視覚支援学校、福島養護学校、福島大学附属特別支援学校や、陸上競技担当部の聴覚支援学校、さらには多くの関係の先生方による協議・検討が行われ、感染症対策も考慮した初めての特別支援学校陸上競技大会開催に向けた準備が進められました。

しかし、大会への期待が高まる中、福島県には台風14号が近づき、大会当日は警報級の大雨となる予報が出されました。広い県土の本県では、遠方からの移動となる学校もあることから、開催の可否については早めの判断が求められ、前々日ではありましたが、やむなく中止の決定となった次第です。

本大会の開催にあたりましては、県関係各課・協会や御賛同いただいている企業様にも代替大会としての御理解をいただけてまいりました。この場をお借りして、御礼とともに心よりの感謝を申し上げます。

今後も本連盟が、特別支援学校で学ぶ児童生徒の心と体の成長発達に大きく寄与することを願い、総評といたします。



# コロナ禍における各学校の部活動や

## 視覚支援学校

本校では、体育の時間にブラインドスポーツの陸上競技や球技について主に取り組んでいます。今年度はオリンピック・パラリンピック教育推進事業推進校として3年目となり、パラクライミング世界選手権4連覇中の小林幸一郎氏を招いたボルダリング体験を実施しました。また、運動部では、陸上部と球技部があり、各種大会に出場しています。特にフロアバレーボールは、東北地区大会・全国大会が開催され、全国初の3年連続全国大会出場を果たしています。



## 聴覚支援学校

本校の部活動には、陸上部・バドミントン部・卓球部・スポーツレクリエーション（フライングディスク）部があります。特別支援学校体育連盟の他に、福島県高校体育連盟、東北聾学校体育連盟、全国聾学校体育連盟に所属し、それぞれの大会でよい成績を収めるため、毎日一生懸命部活動の練習に取り組んでいます。



## 大笹生支援学校

本校高等部では、朝の運動の時間をトレーニングの時間として、学校の近くにある十六沼の周りをランニングしています。今年度から十六沼周りのランニングに加え、隣接している鬼越山の坂を頂上まで走るトレイルラン（山登り走）を取り入れました。朝の短い時間ですが生徒たちは一生懸命に体力づくりに励んでいます。



## 郡山支援学校

本校では、今年の陸上競技大会に3年生2名、1年生4名の6名が出場予定でした。放課後は、体育館だけではなく、校舎内のスロープを利用してのダッシュなどを行い練習を重ね、準備を進めてきました。残念ながら今年では中止となってしまいましたが、来年度に向けて練習を積み重ねていきたいと思いをしています。



## あぶくま支援学校

本校では、臨時休業期間中、児童生徒の運動量の確保のために「Hands clap」という曲のダンス動画を保護者にメールで配信しました。高等部では、朝の運動で踊っていた生徒も多くなじみのある曲であり、臨時休校明けには、生徒から「先生、あの動画見ました!」「家で踊りました!」などの声が多数聞かれ、自宅での運動につながったと感じられました。



## 須賀川支援学校

11月6日(金)、部活動の時間に陸上記録会を実施しました。今年度の特別支援学校陸上競技大会が中止になったことに、3年生は残念な思いを抱いていましたが、この記録会を通じて生徒や先生方から温かい声援を受けながら、日頃の練習の成果を発揮して自己記録に挑戦することができました。



## 協賛品の贈呈



今年度も、福島市のダイハツまつかわ様より特別支援学校陸上競技大会で、個人競技入賞者へ贈られる金・銀・銅メダルとリレー競技入賞校へ贈られる盾を、大塚製薬株式会社様より参加選手への参加賞として、スポーツ飲料と栄養補助食品を協賛していただきました。贈呈式は、あぶくま支援学校で行われ、西村則昌会長に贈呈していただきました。

残念ながら、台風による雨の影響等が心配されたため、大会は中止といたしました。ダイハツまつかわ様並びに大塚製薬株式会社様の温かいお心遣いに感謝し、厚くお礼申し上げます。



# 体育・運動などの取り組みの紹介

## 西郷支援学校

本校では、毎朝約 1.5km のランニングを実施しています。定期的にタイム測定を取り入れることで、目標タイムをクリアしようとする意欲的な姿が見られています。

体力の向上はもちろんのこと、ストレスの発散や生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進も目指しています。



## 石川支援学校

本校高等部では、保健体育 A (男子)、保健体育 B (主に女子) と分けて (週 2 時間) 学習を行っています。両時間ともに主運動の前に本校独自の補強運動を行い、体の調整を図っています。毎回同じ動きを取り入れることで、生徒たちが次の動きを覚え、合図するだけでスタートすることができるようになっています。主運動では、体づくり運動・陸上競技・球技とできるだけ多くの種目を経験できるように学習内容を計画しています。

部活動においては、コロナ禍ではありますが、サッカー部、バスケットボール部と平日は毎日活動しています。現在は大会が行われないため、体力の保持増進、体の調整に重点をおき活動しています。



## たむら支援学校

本校では、保健体育の授業で日常生活で取り組みやすい手軽な運動やエアロビクス運動を取り入れ、運動に親しむ心を育てるとともに運動習慣の確立に努めています。また、今年度より新たな取り組みとして、高等部生徒が校舎をともにする船引高等学校との合同体育祭を実施しました。フライングディスク、綱引き、長縄跳び、バケツリレー、リレーの競技に出場し、スポーツをとおして競い合い、交流を深めることができました。



## 会津支援学校

本校では、6 月下旬より部活動を再開しました。スポーツ大会は中止となったものの、校内で記録会を行ったり、地域のクラブチームと練習試合を実施したりするなど生徒の練習の成果を発揮する場を確保することができました。今後も新型コロナウイルス感染症に負けず、生涯にわたって運動を楽しむ生徒の育成に努めます。



## 猪苗代支援学校

本校高等部では、日頃の練習の成果を発揮できるように、猪苗代町の運動公園陸上競技場で、学校独自の陸上大会を開催しました。初めての陸上競技場に戸惑う生徒もいましたが、一人一人が最後まで諦めず全力で競技し、練習の成果を発揮することができました。これからも生徒の達成感や満足感が得られる大会を続けていきたいと思えます。



## 平支援学校

本校では、体育でコロナ禍で活動が制限されていますが、3 密を避ける工夫をしながらティーボールを行いました。ラインテープを貼って守備範囲を決めたり、守備側と攻撃側のベースを別けてダブルベースにしたりすることで距離をとって学習を行いました。活動の中では、生徒同士が密にならないよう言葉掛け合いながら運動に取り組むことができました。



## 令和 2 年度 御後援・御協賛、ありがとうございました

御後援： 福島県 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会 福島県特別支援教育振興会  
公益財団法人日本教育公務員弘済会福島支部 一般財団法人福島陸上競技協会 福島パラ陸上競技協会  
福島管公学生服株式会社 株式会社スガワラスポーツ (株)ジェイアイシー南東北支店  
福島民報社 福島民友新聞社 福島テレビ 福島中央テレビ

御協賛： ダイハツまつかわ 大塚製薬株式会社



# コロナ禍における各学校の部活動や 体育・運動などの取り組みの紹介

## いわき支援学校

本校では、陸上、バスケットボール、サッカー、フライングディスク、ポッチャの計5種目の部活動を設置し、年間を通して活動を行っています。年間での活動回数や活動時間に制限はありますが、生徒一人一人の体力の向上や卒業後の生活においても継続して取り組んでいけるような豊かなスポーツライフの形成を目指しています。



## いわき支援学校くぼた校

くぼた校では、「2020 特別支援学校陸上競技大会」の中止を受け、近隣のグラウンドを借りて学校独自の「校内スポーツフェスティバル」を実施しました。学級対抗で短距離走やリレー競技を行いました。スポーツ大会に向けて練習を積み重ねてきた成果を発揮しようと最後まで全力で取り組む様子が見られました。



## 富岡支援学校

本校中学部・高等部では、継続した運動を行うことで基礎体力の向上を図ること、体幹筋の強化により、立位姿勢・座位姿勢・歩行の安定を図ること、集団で運動する楽しさや喜びを味わうことを目的として、サーキット運動「TOMITORE」を行っています。生徒一人一人の実態に応じたレベルの運動を設定することで、積極的に継続して取り組んでいます。



## 相馬支援学校

本校は、今年度4月に南相馬市鹿島区へ新築移転し、新しくなった校庭や体育館で毎日継続してトレーニングを行い、体力向上に取り組んでいます。また、今年度よりバスケットボール部とフライングディスク部を発足しました。一人一人が技能の向上に取り組みながら、集団生活のルールやマナーなどを学んでいます。



## 福島養護学校

本校では、体力向上を目指し、朝のトレーニングに励んでいます。ランニング、ミニハードルとフラフープ跳び、筋力トレーニングの3つのブロックを設定し、サーキットトレーニングを行っています。コースごとに時間帯を変え、密を防ぐ等の感染症対策を行いながら、一生懸命汗を流しています。



## 福島大学附属特別支援学校

本校では、「ふようベースボール」に取り組んでいます。本校独自の場やルールを設定を行い、今年度はティーを置かず、教師が投げたボールを打てるように頑張っています。新型コロナウイルス感染症により、手洗いが徹底やルールの変更等ありましたが、生徒一人一人がきまりを守り、生き生きと運動する様子が見られています。



福島県特別支援学校  
体育連盟  
ホームページ

## 福島県特別支援学校体育連盟ホームページのお知らせ

当ホームページは下記URLよりご覧いただけます。このホームページでは、当連盟の様々な活動やスポーツ大会の様子などについての情報を伝えておりますので、ぜひご覧いただけますようお願い申し上げます。

福島県特別支援学校体育連盟ホームページURL ▶ <https://abukuma-sh.fcs.ed.jp/>